

KUALOA RANCH

2022 インパクトレポート

地域社会とビジター向け教育
土地資源管理と環境保護
官民研究パートナーシップ
循環型農業生産

I KA WĀ MA MUA, KA WĀ MA HOPE

過去の経験を未来のために

ミッション

私たちの土地を守り
その歴史を継承することで
人々の生活をより豊かにする。



企業理念

ALOHA

MĀLAMA

LAULIMA

PO'OKELA

私たちは、「Aloha」「Mālama」「Laulima」「Po'okela」という4つの要素を経営の柱としています。これらの理念を大切にすることで、地域の経済発展をサポートしながら、環境保全と社会貢献を推進する、地域密着型ビジネスの模範となることができると考えています。

クアロア牧場は15.4平方キロの敷地を有し、再生農業、アグリツーリズム、ウェディング、映画製作など、様々な事業を通じて収益を上げています。自立した農業牧場として、地域の雇用創出、地元食材の生産、官民共同研究の促進、在来種の生息地回復、地域教育など、地域社会に多くの恩恵を与えることができるようになりました。私たちの信念を貫くことで、他の土地所有者や企業に模範を示していきたいと考えています。

2022クアロアデータ

57.54トンの
の食料を生産

294
のコミュニティや
学校の教育グルー
プを招待

8.7
平方キロメートルの
ハワイ原生林を保護

325
の願いを叶える
手伝いを実施





ウェルネスと土地とのつながりを促進

クアロアランチのブルーゾーンハイクは、従業員とその家族が敷地内で楽しめるハイキングコースです。このトレイルは、土地とのつながりを深めるとともに、健康的なライフスタイルを促進することを目的としています。このハイキングコースは、人々が健康で長生きすることが知られている地域であるブルーゾーンに位置しています。このハイキングは、外に出て自然を楽しむ、体を動かす機会を提供し、これらすべてが健康的なライフスタイルに貢献することができます。クアロアランチは、従業員とその家族にこのハイキングを提供することで、健康増進と土地との強い結びつきを促進するという取り組みを示しています。



チームに力を与える： クアロアランチ人材育成レポート

クアロアランチは、長年勤続してきた従業員を大切に、称えることが重要だと考えています。今年、当社は10年以上勤務している従業員を称え、牧場内に彼らのコアの木を植樹しました。コアの木は、強さ、誠実さ、そして回復力の象徴であり、これらは私たちが従業員に求める資質です。長年勤め上げた従業員一人一人にコアの木を贈ることで、当社への貢献が評価され、当社の土地に永続的な財産を残すことができると願っています。

- 新しい社員特典が追加されました！



2022年、クアロアは従業員の福利厚生プランに新たな特典を追加しました。それはホノルル市の「HOLOバス」割引です。このプログラムは、従業員に対して、費用対効果が高く便利な通勤手段を提供します。また最近では、カイザー・メディカル・プランにCAM（カイロプラクティック、鍼灸、マッサージ）を追加し、従業員が利用できる医療サービスを拡大しました。さらに、雇用主がマッチングする401k拠出金やAunty Pat's Cafeでの食事割引など、既存の福利厚生も提供しています。

350
従業員総数

41
10年以上の勤続者数

160+
コミュニティへの
ボランティア時間

164
2022年の
新規雇用者数

27%
2022に増員され
た従業員の割合

15
累計昇進者数

20
ボランティアした
コミュニティ委員会数

スタート時の時給
\$17.50

E MĀLAMA 'ŌE I KA 'ĀINA, E MĀLAMA KA 'ĀINA IĀ 'ŌE

アロハ

クアロアランチのチームを代表して、2022年版のインパクトレポートを発表できることを誇らしく光栄に思います。この報告書は、私たちがこの1年で成し遂げた多くの成果を紹介するものですが、同時に、まだやるべきことが数多くあることを再認識させられるものでもあります。

ハワイのことわざ「E Mālama 'Oe I Ka 'Āina, E Mālama Ka 'Āina Iā 'Oe」は、土地を大切に
しなさい、そうすれば土地は私たちを大切にしてくれるでしょうという意味です。この「ōlelo
no'eau」は、人と環境との密接な関係を強調するもので、その知恵は現代にも通じるものが
あります。このことわざは、私たちの価値観、ビジネス、そしてサステナビリティへの
貢献の中核をなすものであり、私はこの言葉を深く心に刻んできました。

現代では、多くの人々が都心に移り住み、農業や自然環境と関わる機会が少なくなっているため、
土地とのつながりはますます疎遠になっています。そのため、私たちは環境に対する責任を最優先に
考え、持続可能な土地利用の重要性を再認識するよう、より一層意識しなければなりません。

クアロアランチは、土地を大切にし、持続可能な食品を生産し、地域社会に貢献するという強い決意
を共有する、情熱的なスタッフに恵まれています。当社が提唱する価値観に対する彼らの献身的な
姿勢は非常に高く評価され、コミュニティからも大いに感謝されています。彼らの専門知識、
コミットメント、情熱があれば、私たちは土地、地域、そして私たちを取り巻く世界に
ポジティブな影響を与え続けることができると信じています。

マハロ

John Morgan

クアロアランチ社長

6th Generation Steward

クアロア グロウン

地元で育てられた
信頼のおける食品を





54

クアロアグロウン
専任スタッフ数

20%

クアロアグロウン
専任スタッフ増加率

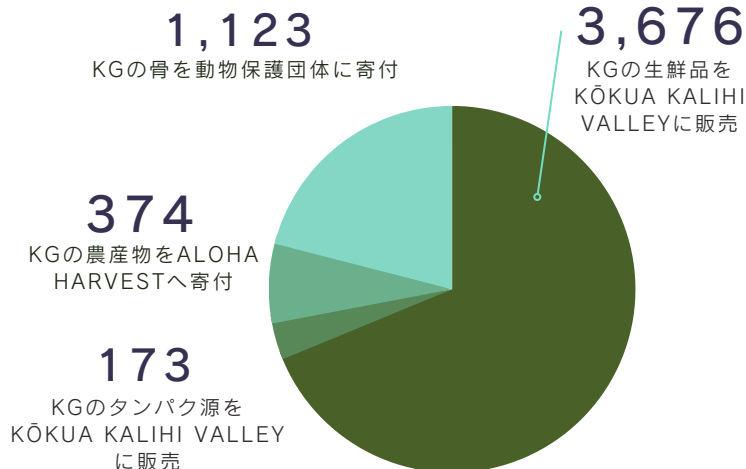




KualoaGrown Māla



クアロアグロウン生産食品



ローカルフードの需要と供給

過去1年間、クアロアグロウンは地元コミュニティ組織との様々なパートナーシップを通じて、地元の食料供給を増やすために大きな進歩を遂げました。2022年を通して、クアロアグロウンは3,676kgの生鮮食品と173kgの動物性タンパク質をKōkua Kalihi Valleyに販売し、栄養・高齢者部門の患者向けの Monday and Kupuna Bags、Covid+ support、Roots Cafe and Marketなどの欠かせないプログラムを支援しています。さらに、年間を通じて374kgの地元農産物をAloha Harvestに寄贈しました。

また、Fête、The Pig and The Lady、Piggy Smallsといった人気スポットを含む7つの地元レストランと有益なパートナーシップを確立しました。これらのパートナーシップの主な目的のひとつは、地元産の食材を使ったメニューに切り替えようとするレストランやシェフに、より多くの地元産の食材を提供し、その質を高めることにあります。

クアロアグロウンの生産食品が 支援するプログラム



クアロアグロウン

2022 生産食品

57.54^{トン+}

クアロアグロウンの
総食料生産量

99.34%

2021年以降の
生産増加率

118頭の肉牛
2021年より97.84%増加



2021年より
121.58%増加



16,848
の鶏卵

15.3

トンのオーガニックフルーツ
と野菜を生産



2021年より
120.3%増加



1.3
トンのエビ



40,470

個の牡蠣を養殖

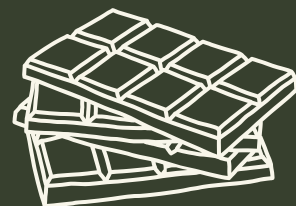


3,372

ダースを市場に
出荷

21,350

個のチョコレートバーを
2022年に生産



伝統的な主菜



2.8

トンの'ULU（パンの木）を収穫



1.1

トンのKALO（タロ芋）を収穫
2021年より28%増加



1.4

トンの'UALA（スイートポテト）を収穫

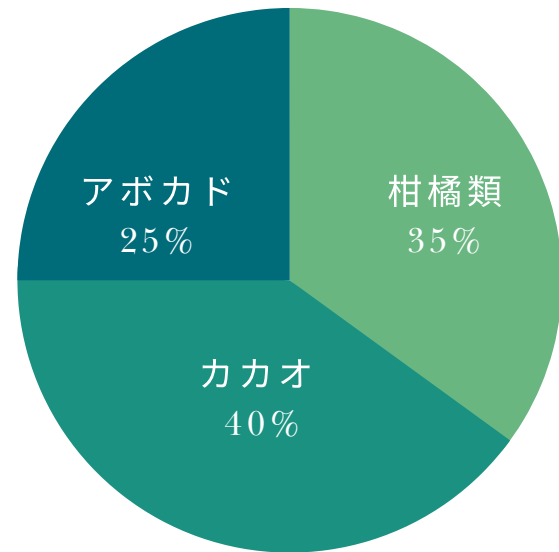
2022年に拡大された生産物

クアロアグロウン全体での
生産増加率

50%

160

本の新しい
フルーツの苗
を植樹



処理能力の向上

パハロナに新しい洗浄施設を建設しました。
これにより、今まで3メートル x 3メートルの洗浄
設備から、6メートル x 24メートルの洗浄設備に大
幅に拡大されました。

これにより、クアロアグロウンでは、2023年に向
けて新たな食品安全への取り組みを行うことが可能
になりました。



食品廃棄物の軽減

4,500+ KG

食品廃棄物を家畜
の飼料に再利用し
ました





クアロアグロウン

ファーマーズマーケット

2022年、クアロアグロウン・マーケットの年間売上高は90万ドルを超え、地域農業の振興と支援に成功していることが証明されました。29のパートナー農場と生産者のネットワークを持つクアロアグロウン・マーケットは、健康的な地元産の食品を買いたい住民のために、地元の食品を気軽に手にすることができる重要な役割を担っています。このマーケットは、新鮮で健康的な食品が手に入りにくいオアフ島イーストサイドの地域に住むお客様にとって、今では不可欠なリソースとなっています。クアロアランチは、小規模農家や生産者に商品を販売する場を提供することで、ハワイのフードシステムの強化、地元の起業家の機会創出、食と農を取り巻くコミュニティ意識の醸成に貢献しています。

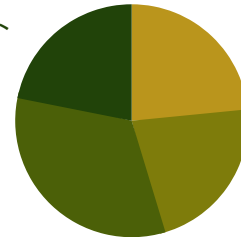
クアロアグロウン・パートナー

14 共同生産プロダクト

15 地元農家と
生産者パートナーシップ

21 クアロアグロウン
付加価値商品

14 高付加価値生産者



Māmaki Tea



ママキ・ティーは、ハワイ州オアフ島にあるネイティブハワイアンが経営する100%オーガニック認定の農園です。

ハワイの伝統医学であるラアウ・ラバアウに基づき、様々な種類のハワイアンハーブティーを製造しています。

これらのハーブティーは、オールドハワイの自然療法を体験し、自分自身を癒すことを求める人々のための商品を提供します。

Juice Wahine



メリッサ・ブーラは、ジュース・ワヒネのオーナーです。

メリッサはネイティブハワイアンで、カアアヴァに住む、カアアヴァ小学校に勤務する4児の母です。友人や家族とジュースを提供することから、小さなビジネスをスタートしました。

現在では、島中の人々にゴールドプレスジュースを作ることができ、とても幸せだと感じています。

Forage



クアロアグロウンとフォレッジ・ハワイは2022年に提携し、100%牧草飼育の牛肉と豚肉を使った、2種類のおいしいポーンブロスとフォレッジ特製ビーフチリを作りました。

クリーンでヘルシーなローカルミートが人気を集める中、フォレッジ・ハワイは地元産の肉や魚をより身近に感じてもらうため、生肉と獲れたての魚の販売も開始しました。

29

パートナー農場



2,725

ニュース購読者



129

マーケットメンバー



"クアログロウン・マーケットは、単に食品を購入できるだけでなく、コミュニティ、サステナビリティ、そしてコラボレーションのための重要な拠点となっています。特に、近隣のハウウラ、カアアヴァ、カネオへのコミュニティが健康的な地元産の食品を手に入れられるようになり、さらに州内の他の地元農家や生産者を支援できるようになったことは、私たちにとって大きな意味があります。"

-多角的農業管理アシスタント Tierra Bartolotti

Maui Nui Venison



クアログロウンでは、2022年に Maui Nui Venisonと提携し、環境、コミュニティ、食料システムのためにアクシスジカの個体数の管理をしています。私たちは、このような栄養価が高く、信頼性の高いジビエ肉を、私たちの市場を通じて提供できるようになったことに嬉しく思います。

Island Sausage



クアログロウンでは、高品質なソーセージの生産で定評のあるアイランドソーセージ社と提携し、クアログロウン産の豚肉を使用したオリジナルフレーバーのソーセージを販売しています。地元の人たちにはよく知られているものの、ソーセージの形ではあまり見かけない様々なフレーバーの地元産ソーセージは、他では味わうことのできない美味しさです。

Pu'u O Hoku Ranch



プウオホク・ランチでは、粉末の「アヴァ」よりも滑らかな飲み心地の、新鮮な冷凍の「アヴァ」（根茎の果肉）を提供しています。ハワイ産の品種に特化し、特に活性化合物であるカヴァラクトンの含有量が多いことが確認されており、ハワイ中の愛好家から「最もプレミアムなアヴァ」と賞賛されています。

インターンシップ

農業工学に深い情熱を持つ、明るく意欲的なカフク高校3年生のヴァエアヌイ・ペックさん。クアロアでの自主学習と実地体験の組み合わせにより、ヴァエアヌイはこの1年間、私たちの養殖プログラムに大きな貢献をしてくれました。

最も印象的な成果のひとつは、Aフレームの海水水耕栽培システムを設計・製作したことです。彼女はクアロアで合計2つの水耕栽培システムを構築し、そのメンテナンスを行い、毎週定期的にレタスを収穫しました。

さらに、水耕栽培の総合マニュアルを作成し、学んだ知識を共有することで、持続可能な農業の発展に貢献しました。また、この経験をカフク高校に持ち帰り、古い水耕栽培システムを修復して、同級生とそのノウハウを共有することができました。



今、彼女はなにを？

現在、ヴァエアヌイは、エネルギー消費を減らすためのソーラー技術の統合や、気候に左右されないようにするための屋根の設置など、既存のシステムの改良に力を入れています。また、養殖シーアスパラガスの生産拡大を目的としたフィールド試験にも参加し、生産工程の効率化をサポートしています。



マオ・ファームズ FE'Eサマープログラム

気候変動に配慮した伝統的な農業の実践に焦点を当てたFarm Expansion Experience (FE'E) サマーインターンシッププログラムは、2022年にカウウェラの共同生活者に再生農業の実践的な経験を積む貴重な機会を提供しました。FE'Eに参加する農場の協力的なネットワークのおかげで、クアロアが支援した2人の学生インターンはその後卒業し、正規の従業員となりました。





8人の高校生と大学生を対象としたインターンシップの実施

クアロアランチは、ハワイ州立大学ウエストオアフ校のサステナブル・コミュニティ・フードシステム・プログラムの4年生3名のインターンシップを受け入れました。3人のインターンのうち2人は2022年にクアロアグロウンの常勤スタッフとなり、学位を直接仕事に活かしています。

ハワイ州立大学ウエストオアフ校 サステナブル・コミュニティ・フードシステムズ・プログラム



ハワイ州立大学のサステナブル・コミュニティ・フードシステム学応用科学学士号は、MA'O Organic FarmsとKamehameha Schoolsとのパートナーシップにより誕生しました。

学生は、地域的、全国的、世界的な農業食品システムの歴史と発展、および地球環境の質、人間の健康、社会的・経済的幸福への影響について学びます。クアロアランチで受講したプロフェッショナリズムと質の高い指導は、このプログラムの複数の学部生が、持続可能な食糧システムの変化と変革に関する理論的理解を直接活用するのに役立っています。



2022 ハワイ・アグリカルチャー・カンファレンス 変革の担い手としてのコラボレーション・リーダー

クアロアランチは、今年開催された2022年ハワイアグリカルチャー会議において、協賛企業として参加しました。ハワイの様々な農業セクターや産業から、地元のリーダー、コミュニティメンバー、関係者がプレゼンターや出席者として参加しました。今年のパネリストは、ハワイの持続可能なフードシステムの構築と農業の繁栄に向けた、大きなチャンスとチャレンジに言及しました。クアロアグロウンでは、多角的農業・土地管理担当ディレクターのテイラー・ケラーマンが開会の挨拶を行い、「Farm to Plate: 効果的な農業のサプライチェーンにおける重要な要素」をテーマにモデレーターとして有意義な議論を展開しました：

クアロア・エデュケーション



土地の保全と管理をベースにしたコミュニティ形成

2022年、クアロア・エデュケーション部門では、ハキプウ、クアロア、カアアヴァの3つのアプアアとコミュニティのつながりを再活性化するため、文化に焦点を当てたプロジェクトに取り組みました。これらのプロジェクトの中には、パンデミック時に始まった継続的な取り組みもあれば、プログラムの構築に貢献した新しいプロジェクトもありました。

2022年を通して、クアロア・エデュケーション部門はどのようにプログラムを認証してきたのでしょうか？

“ [2022年、クアロア・オハナ（家族）のためのホオクブの植え方や採集方法についてのワークショップを開催し、私たちはカホオラヴェの儀式でロノ（農耕と平和の神）にホオクブ（供物）を捧げることができました。これらのホオクブには、クアロア産のカロ、ウル、ウアラ、そして私たちのオアイナを養う新鮮な水源からのワイが含まれています。またProtect Kaho'olawe 'Ohanaのマカヒキ（新年の祭事）への参加により、クアロアは、農業とコミュニティへの食料供給に対する意志を明確にすることができました。

私たちは、この場所の人々をつなぐことができるクレアナ（役割）を理解し、この場所を誰もが利用しやすい場所することに力をいれています。私たちは、近隣のワイアホレ小学校とカアアヴァ小学校をはじめ、多くの学校に対して、コオラウ地区との橋渡しをするために、フアカウイ（遠足）を開催しています。私たちは、水田でのタロ芋作り、小川の再生、土地概念の研究などのプロジェクトに取り組み続けてきましたが、それは、これらの資源が私たちのコミュニティにとってどのような意味を持つのか、私たちの視点を広げることによって達成されました。私たちが誰に、どのようにサービスを提供するかを意識することで、私たちが提供するものに彼らのカリキュラムを合わせるのではなく、訪問する学校グループとより緊密に連携し、彼らのカリキュラムに対応できるようになったのです”。

- ハワイアンカルチャー&コミュニティエンゲージメントマネージャー
ジョーイ・パルペ



数字で見るクアロア・エデュケーション

10,855

2022年にクアロアの教育プログラムを通じて
参加した人々

100%

2021年と比較した
教育プログラムの参加増加率

294

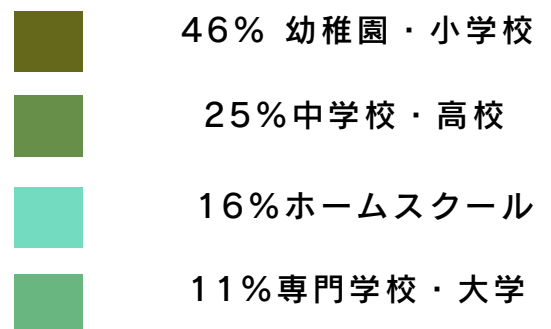
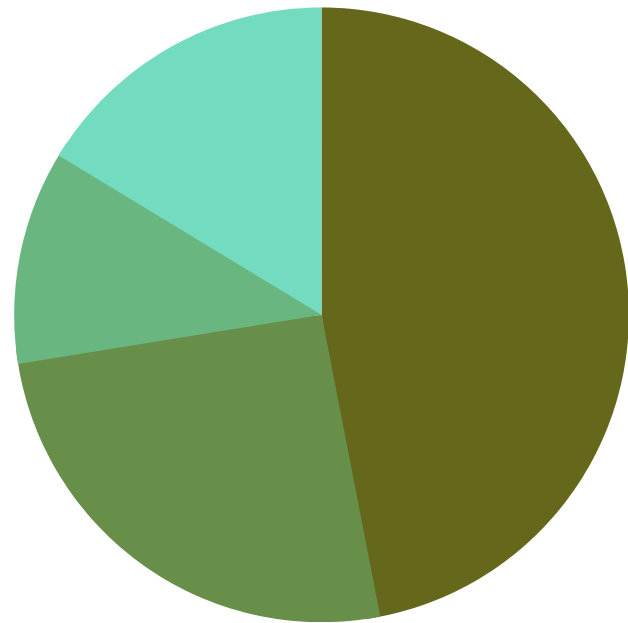
2022年に受け入れた
コミュニティと
教育グループ

880%

学校・地域団体の
受入増加率

62+

受け入れた学校数



クアロア・ケイキ・プリスクール



153

2022年に参加した
ケイキ（子供）

242

年間を通じて5回のセッシ
ョンに参加した大人



毎年恒例のメーデーの
プログラムでは、ケイキが
家族のために歌やフラを披露

62%

保護者参加型プログラム
セッションに参加して、
その後再参加した割合



土地保全活動

合計8.7平方キロメートルにおよぶ森林と低木林の保全活動を行い、ハワイ先住民の森林を保護し、流域の健全性を向上させました。

2022年レビュー

採集した在来種の種子：29種78点

1年間で、牧場全体で見られる29の在来種から78の種子が採取されました。集められた種子の一部は将来のために保存され、残りの種子は苗木を育てました。



2022年に2,600以上の固有植物の苗木を育てて植樹

2,600本以上の植物の苗を育て、2022年にHakipu'uにある様々な修復地に植樹されました。この作業は、在来種を保護・促進するための重要な取り組みであり、持続可能性と保全に対する牧場のコミットメントを示すものです。

2,083のジャイアントシダと525のアルビジアの駆除

Ko'olau Mountain Watershed Partnershipは、外来種のジャイアントシダとアルビジアを駆除の対象とし、ジャイアントシダ2,083本とアルビジア525本を駆除することに成功しました。また、このパートナーシップは、再生地や在来種が多く生息する場所での雑草駆除も行っています。さらに、弊社のジョン・モーガンは、KMWP会長職の任期をさらに5年延長することを約束しました。



16 スチュワードシップ・カアプニ・デイズの開催

2022年、クアロア牧場では、土地保全部門と一緒に働く機会を社員に提供するプログラムを開始しました。スタッフは植林のための場所を準備し、ハワイ固有の植物を植え、原生地の除草を行い、ハキプウとカアヴァ渓谷のトレイルを整備しました。ハワイ固有の森林種を守るために共に活動することで、スタッフ同士も「アイナ（土地）」との強い絆を築くことができました。



ロベリア属の一種を発見

2022年夏、ハワイ森林野生生物局、植物絶滅防止プログラム、国立熱帯植物園のスタッフがクアロアランチ・ハワイを訪れ、ドローンを使ってアクセスしにくい崖の植物調査を実施するワークショップを開催しました。ドローンの熟練パイロットは、ロープが届かないような場所でも巧みに機体を操作し、植物学者たちが今まで見たことのないような垂直に切り立った地形に目を向けることができるようになりました。その結果、未知のロベリア属の植物が数株発見されました。





サステナビリティ研究のための官民パートナーシップ

ハワイ大学マノア校のサステナビリティ学士課程を卒業する5人の4年生グループは、2022年にクアロア牧場でさまざまなサステナビリティに関するプロジェクトを実施しました。プロジェクトには、二酸化炭素排出量の計算、観光客向けアンケートの実施、島内の既存のリサイクルや堆肥化プログラムを活用し、牧場が廃棄するプラスチックを最小限に抑える方法の検討などが含まれました。

MA KA HANA
KA 'IKE

“行動することで
人は学ぶ”



ISRとクアロアランチのパートナーシップにより、学生はサステナビリティプログラムで学んだ知識とスキルを実際の現場で実践することができ、その成果をハワイ大学の教員とクアロアのリーダーたちにプレゼンテーションすることに成功しました。学生たちは、自分たちのスキルを応用し、その結果に基づいた具体的な提案をする機会を得ることができたのです。

サステイナブル ツーリズム

「クアロア牧場は、地域社会、環境、持続可能な経済を同等に考える三位一体の哲学を採用することで、持続可能な土地管理の模範となるような存在となっています。農地、養殖インフラ、牧草地といった生産的な資産を活用し、ハワイの食糧安定供給という目標に積極的に貢献すること、そして、自然資源を適切に管理する専任の土地保全チームと組み合わせることで、将来の世代のために良好な状態で土地を守っていくことをお約束します。ハワイがいかにか特別な場所であるか、ハワイの人々、環境、文化がいかにか大切にされ、尊重されなければならないかを伝えるために、私たちは毎日、これらのコンセプトをお客様に伝える機会を与えられているのです。

- 土地保全、多角的農業、教育担当ディレクター
テイラー・ケラーマン



4,153
名参加



26,051
名参加



15,779
名参加

マラマ エクスリエンス

2022年に開始されたマラマ エクスリエンスは、ハワイの人々にとってのカロ（タロ芋）の重要性やクアロアの文化的なつながりを含め、持続可能性と流域管理について学ぶことができる体験学習プログラムです。アクティビティには、伝統的な茅葺き、掃除、植樹、カロの収穫、マーラ・ラアウ・ラパアウ（ハワイの薬草園）の世話などが含まれています。



クアロアグロウンツアー

クアロアランチの「クアロアグロウンツアー」は、ハワイの繊細な生態系と、牧場内で行われているローカルフード生産の取り組みについて、観光客に知ってもらうための体験型ツアーです。このツアーでは、クアロアの緑豊かな渓谷や美しい風景を巡り、この地域の繊細な生態系を構成する多様な植物や動物を紹介します。途中、牧場の持続可能な農業の実践について学びます。

Eマウンテンバイク ツアー

クアロアランチのEバイクツアーは、クアロアの息を呑むような渓谷、牧草地、そしてトレイルをEマウンテンバイクで探索するローカル&ビジター向けツアーです。このツアーは、初心者から上級者まで、環境に優しく、アクティブにハワイの自然の美しさを感じることができます。初心者向けのツアーでは、クアロアとカアヴァの渓谷を9.6kmほど走り、途中4~5回の休憩を挟みながら、写真撮影や美しい景色を楽しむことができます。

マウンテンバイクを趣味としている上級者のために、急勾配のセクション、ダートトレイル、シングルトラックなど、さまざまな地形を、より速いペースで、よりテクニカルに走る、上級者向けツアーをご用意しています。トレイル、ジャングル、尾根など、合計15kmを走破します。



地域社会とのパートナーシップ



Kāko'o 'Ōiwi

2022年に結ばれたKāko'o 'Ōiwiとのパートナーシップにより、クアロアグロウンでは同社の製粉機を利用し、Hakipu'u lo'iで育ったカコを使って独自のポイを製造できるようになりました。このパートナーシップは、持続可能な農業を推進する私たちの取り組みにおいて重要な役割を担っており、クアロアで栽培されたハワイの伝統的な食品を提供できることを心からうれしく思っています。来年も、このパートナーシップを基に、新たな成長と革新の可能性を模索していけたらと思います。



クアロアは昨年、GoFarm Hawai'i プログラムを支援し、Windward Cohort 13 のキャベツ作りを支援するとともに、マーケットでの委託販売も行いました。GoFarm Hawai'iプログラムの卒業生2名は、現在クアロアグロウンスタッフとして活躍しています。



2022年のファームフェアでは、クアロアは4Hショーの主催者となり、またカアアヴァ4Hクラブの定例ミーティング場所としても利用されてきました。さらに、クアロアは一貫して動物輸送のサポートを行い、4Hメンバーが年間を通してイベントのために家畜を各地に輸送することを可能にしました。このようにクアロアと4Hの長年のパートナーシップは、若手農家の育成と地域社会の農業教育の推進に大きく貢献しています。

クアロアのパニオロ（カウボーイ） 文化の継承

クアロア牧場では、秋から春にかけて毎年8つのロデオを開催しています。これらのイベントには、家族、ボランティア、ハイスクールロデオアソシエーションの卒業生が参加し、次世代のカウボーイとカウガールにホームグラウンドを提供します。牧場のサポートと尽力により、オアフ地区ロデオ協会は64名の会員を抱えるまでに成長しました。ロデオは、スポーツマンシップ、馬術、友情といった重要な価値観を青少年に広める上で重要な役割を担っています。

「ロデオは、パニオロ文化を継承するために欠かせないものです。クアロア牧場の継続的なサポートとコミュニティへの貢献がなければ、私たち協会はロデオを開催し続けることができなかつたでしょう。ユニークなのは、何世代にもわたってロデオに携わってきた家族がいて、その子供や孫がオアフ島高校ロデオ協会のメンバーになっていることです」

- HHSRA オアフ地区会長 キャシー・リタ氏





2022年、クアロアはキャッスル高校の3.2ヘクタールの農場を支援するため、重機の運転業務を提供しました。

2022年12月9日
経済活性化食品チーム、クアロアランチを視察

フードチームは、市の復興支援室、土地管理局、企画・許認可局、ウルポノイニシアティブとともに、クアロア牧場を訪れ、持続可能な農業への革新的アプローチについて学びました。地域の大切さ、農業の未来を担う若い農家の教育、クアロア牧場の地域農業の歴史などについて、深い話し合いが行われました。牧場のスタッフは、伝統的なハワイの養殖池で牡蠣を収穫し、地産の牛肉や豚肉を育て、自分たちでチョコレートを作っていることを紹介しました。フードチームは、2023年、より多くのオアフ島の農場を訪れ、より多くの地元産の果物、野菜、タンパク質の生産について会話を交わす計画です。



140,000本以上の缶やボトルを回収

2022年、Bottles for Collegelはクアロアランチで14万本以上の缶やボトルを回収しました。これは、前年の2倍の量で、1カ月あたり約11,650本の缶やボトルを回収したことになります。このプログラムでは、1週間に2~3回の回収が行われ、1回の回収で1,500~2,500本の缶やボトルが回収されます。



**Shriners Children's Hospital
コマーシャル**

クアロアランチは、1月19日にシークレットアイランドで行われたシュライナーズ小児病院のコマーシャル撮影の場所と費用を提供し、大成功を収めました。撮影されたコンテンツは、組織全体を支える寄付者や資金を増やすことを目的としたものです。シークレットアイランドでの撮影を含むプロダクション全体は、出席した地元と全国のシュライナーズチームから好評を博しました。



KŌKUA KALIHI VALLEY



Rescuing Quality Food to Nourish and Strengthen Our Community



2022年は、実りあるパートナーシップに満ちた年でした。
クアロア・ランチとパートナーシップを結んでくださったすべての団体に、心から感謝しています。
2023年も、これらのパートナーシップをベースに、新たな関係を築いていきたいと思ひます。



KO'OLAU MOUNTAINS WATERSHED PARTNERSHIP



Windward Academy FOR CAREER AND TECHNICAL EDUCATION



KAHUKU HIGH & INTERMEDIATE SCHOOL



KĀKO'O 'ŌIWI



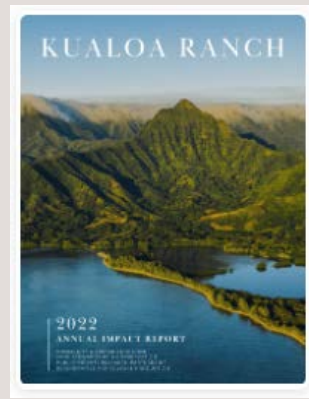
EIA KA HOPENA O KA HO'OMAKA

「Eia ka hopena o ka ho'omaka」は、この1年を振り返り、次の1年に目を向けるとき、すべての終わりは、新しい始まりの機会でもあることを教えてくれます。

変化を受け入れ、ポジティブで可能性に満ちた未来に向かうことを後押ししてくれるのです。

KUALOA RANCH
PRIVATE NATURE RESERVE

Visual Report Layout Overview



Front Cover



Pg 1-2 Our Mission & Our Values



Pg 3-4 At A Glance & HR Stats



Pg 5-6 President Messaging & KG Intro



Pg 7-8 KG Collage & Food Distribution Data



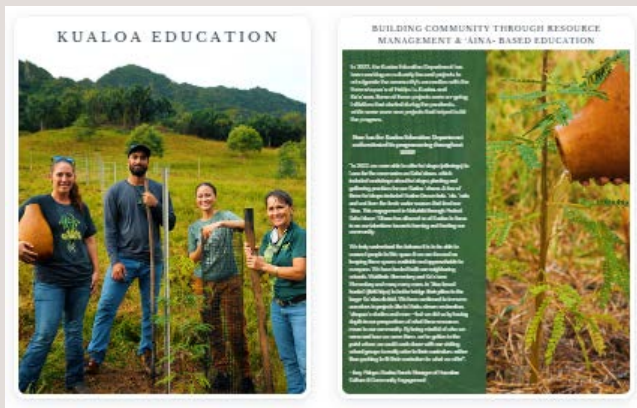
Pg 9-10 KG Production + Expansion Data



Pg 11-12 KG Market



Pg 13-14 Internships + Ag Industry Support As a Whole



Pg 15-16 Kualoa Education Intro



Pg 17-18 Education #s + Preschool



Pg 19-20 Stewardship + Public-Private Research



Pg 21-22 Sustainable Tourism

Community Partnerships



Kāko'o O'iwi

We are immensely grateful for our partnership with Kāko'o. Their first year began in 2022, which has since allowed Kāko'o to build a strong foundation for their future work. We are excited to continue our partnership and look forward to future projects together. Kāko'o is a truly special place, and we are grateful for the community and support that has made it possible to get started on this journey.



Reviving Kualoa's Paniolo Heritage

Kualoa Paniolo is a unique and historic site that has been largely forgotten. Through our partnership with Paniolo Heritage, we are working to preserve and celebrate this important part of our heritage. We are excited to continue our partnership and look forward to future projects together. Paniolo Heritage is a truly special place, and we are grateful for the community and support that has made it possible to get started on this journey.



Pg 23-24 Community Partners



Office of Economic Revitalization, Pearl Street
Kauai, Hawaii, December 16, 2022

The Office of Economic Revitalization is pleased to announce the completion of the Pearl Street project. This project has been a long and challenging process, but we are proud to have reached this milestone. We are excited to continue our partnership and look forward to future projects together.



Tractor 2022, a historic preservation project, is currently underway. This project is a significant step towards preserving our heritage and ensuring that future generations can enjoy it. We are excited to continue our partnership and look forward to future projects together.



Pg 25-26 Community Partners Cont.

EIA KA HOPENA O KA HO'OMAKA

As we reflect on the past year and look ahead to the next, "Eia ka hopena o ka ho'omaka" reminds us that every ending also presents an opportunity for a new beginning. It encourages us to embrace change and approach the future with a sense of optimism and possibility.

KUALOA
179 Pe'a Road, Honolulu, HI 96815

Back Cover

Cover Option 1



Cover Option 2



EIA KA HOPENA O KA HO'OMAKA

As we reflect on the past year and look ahead to the next, "Eia ka hopena o ka ho'omaka" reminds us that every ending also presents an opportunity for a new beginning. It encourages us to embrace change and approach the future with a sense of optimism and possibility.

KUALOA



170 Years of History, Beauty, and Adventure

1850-2020



EIA KA HOPENA O KA HO'OMAKA

As we reflect on the past year and look ahead to the next, "Eia ka hopena o ka ho'omaka" reminds us that every ending also presents an opportunity for a new beginning. It encourages us to embrace change and approach the future with a sense of optimism and possibility.

KUALOA



170 Years of History, Beauty, and Adventure

1850-2020